

2008

2008



産業クラスター計画

Industrial Cluster Project

産学官の連携による新事業・新産業の創出支援

Industrial Cluster Project ● 産業クラスター計画

Industrial Cluster Project 2008

経済産業省

CONTENTS

イノベーション創出を目指して ～産業クラスター計画～

産業クラスターとは	2
産業クラスター計画	4
地域イノベーション研究会	9
文部科学省(知的クラスター創成事業)との連携	10
産業クラスター政策のこれまでの成果	12

北海道地域

北海道ITイノベーション戦略	14
北海道バイオ産業成長戦略	16

東北地域

TOHOKUものづくりコリドー	18
------------------------	-----------

関東地域

地域産業活性化プロジェクト	首都圏西部ネットワーク支援活動(TAMA)	20
	中央自動車道沿線ネットワーク支援活動	22
	東葛川口つくば(TX沿線)ネットワーク支援活動	24
	三遠南信ネットワーク支援活動	26
	首都圏北部ネットワーク支援活動	28
	京浜ネットワーク支援活動	30
バイオベンチャーの育成	首都圏バイオネットワーク	32
情報ベンチャーの育成	首都圏情報ベンチャーフォーラム	34

中部地域

東海ものづくり創生プロジェクト	36
東海バイオものづくり創生プロジェクト	38
北陸ものづくり創生プロジェクト	40

近畿地域

関西フロントランナープロジェクト Neo Cluster	42
関西バイオクラスタープロジェクト Bio Cluster	44
環境ビジネスKANSAIプロジェクト Green Cluster	46

中国地域

次世代中核産業形成プロジェクト	48
循環・環境型社会形成プロジェクト	50

四国地域

四国テクノブリッジ計画	52
-------------	----

九州地域

九州地域環境・リサイクル産業交流プラザ(K-RIP)	54
九州シリコン・クラスター計画	56
九州地域バイオクラスター計画	58

沖縄地域

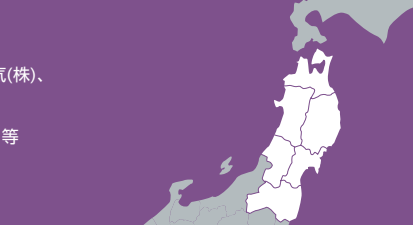
OKINAWA型産業振興プロジェクト	60
--------------------	----

産業クラスター計画 関係機関連絡先	62
産業クラスター計画 平成20年度推進組織・拠点組織連絡先 一覧表	64



主なプロジェクト参画者

企業(800社): 北上精工(株)、岩機ダイカスト工業(株)、(株)アキタ・アダマンド、(株)メムスコア、東北電子産業(株)、アンデス電気(株)、インスベック(株)、ハイメカ(株)、(株)ケティカ、(株)YCC情報システム 等
 行政関係機関等(27機関): 東北6県、花巻市、弘前市、酒田商工会議所、水沢商工会議所 等
 大学・公設試等(58機関): 東北大学、岩手大学、秋田県産業技術総合センター、山形県工業技術センター、福島県ハイテクプラザ 等
 金融機関(21機関): 七十七銀行、みちのく銀行、岩手銀行、東邦銀行、青森信用金庫 等
 BI施設(1機関): 北上市基盤技術支援センター
 その他: ひろさき産学連携フォーラム、INS(岩手ネットワークシステム)



緊密な地域連携でものづくり産業クラスター(ものづくりコリドー(回廊))の形成を目指す

概要	ポテンシャルの高い産業集積地域を中心に、イノベーション力の高い分野を対象に産学官ネットワークを形成し、地域と分野で相互に緊密に連携し合い、東北全体が持続的にイノベーションが創出されるイノベティブな地域となることを目指す。
重点産業分野	「MEMS技術分野」、「半導体製造装置関連分野」、「光産業分野」、「医歯工連携・健康福祉分野」、「自動車関連部材等分野」、「非鉄金属リサイクル分野」、「IT分野」の7つの技術・産業分野
対象地域	東北地域全域(特に北上川流域地域、広域仙台地域、山形・米沢地域、広域郡山地域を重点地域とする)
推進組織	(株)インテリジェント・コスモス研究機構 URL: http://san-cluster.icr-eq.co.jp/index.html TEL: 022-279-8811 FAX: 022-279-8880
連携する拠点組織	(財)21あおり産業総合支援センター、(株)北上オフィスプラザ、(財)みやぎ産業振興機構、(社)東北ニュービジネス協議会、(財)仙台市産業振興事業団、(財)秋田県資源技術開発機構、(財)あきた企業活性化センター、(財)山形県産業技術振興機構、(財)福島県産業振興センター

キーパーソン紹介



西川 雅樹氏

クラスター・マネージャー

長らく人材と食料の供給源として日本の社会・経済を支えてきた東北は現在では、国内の幅広い産業へ高度部材を提供する重要な役割を担っており、また世界に通用する独自技術や製品を誇る企業を数多く擁する地域でもあります。

本州の約3割を占める豊饒で広大な東北にはまた、地域毎に特徴ある先端的な研究・産業・技術等の集積の成長も著しく、これら分散する大きなポテンシャルを活かし、各支援機関と連携しながら、この地にふさわしいものづくり産業クラスターの創生と地域産業の活性化を積極的に進めています。

プロジェクトの成果 ※平成18年度からの延べ数

新商品・新製品創出件数;	1,526件
創業・ベンチャー企業数;	17社
第二創業数;	1社

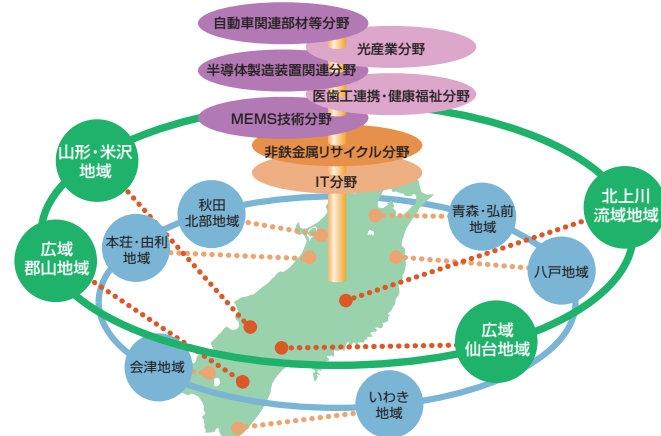
数値目標

5年間で2,400件の新事業開始を目標とする。

プロジェクトの推進体制の概要

産学官ネットワークの概要

これまでの、「情報・生命・未来型ものづくり産業プロジェクト」、「循環型社会対応産業振興プロジェクト」で形成されたネットワークを継承し、さらに各重点分野ごとにネットワークの拡大・深化を図る。



プロジェクトの特徴的な取り組み

東北地域でポテンシャルを有する5つの技術・産業分野を中心とするものづくりのクラスター形成を加速させるため、「非鉄金属リサイクル分野」、「IT分野」の2つの分野を「サポートینگクラスター」として位置づけ、それぞれネットワーク活動に取り組む。

ビジネス創造に向けた考え方・取り組み

目利き人材による市場性の評価や連携先の紹介を行う「アドバイザー・ボード事業」、「BUY・ベンチャー東北運動」等のマッチング事業、首都圏における専門分野の展示会への出展支援等により、販路開拓を支援する。

知的クラスター等他府省連携

東北地域で実施されている文部科学省の知的クラスター創成事業、都市エリア産学官連携促進事業と、推進会議や合同成果発表会等により、事業化に向けた連携を図っている。

事例1 | MEMS技術分野「農作物セキュリティシステム」フィールドテスト実施

昨今、各地で多発している農作物の盗難対策として、MEMSセンサーと無線通信技術の組み合わせによる低コストのセキュリティシステムの開発を、地域等の関係者が共同開発プロジェクトとして進めており、その有効性に関して農園での実証試験を行った。

フィールドテストに際しては、センサーシステムやサービス提供を各企業が受け持ち、技術コーディネートを東北大学、MEMSパークコンソーシアム、更に農商工連携として東北農政局、山形県、JA及び、現地農業関係者の協力を得て実施した。

このシステムは、一度に広範囲のセンサー網が構築でき、かつ速報性に優れることから、農産物の盗難防止に有効であることが確認された。

今後も市場化に向け、更なるコスト削減、信頼性向上を達成するため、技術改善を継続することとしている。

MEMSセンサーと無線技術の組み合わせによるテレメトリーシステムのアプリケーションとして、海面養殖向け水質監視、酒造業向け工程管理への利用拡大に関してFS調査を進めている。



農園フィールドテスト

※MEMS (Micro Electro Mechanical Systems=微小電気機械システム)

事例2 | 自動車関連部材等分野「とうほく自動車関連技術研究会」

■目的

自動車メーカー及び自動車部品メーカーの技術課題に対し、地域企業が提案、プレゼンすることにより、技術・情報交流の場を提供し、地域企業と具体的な課題解決に向けた技術フォーメーションの形成を図る。

■成果

研究会の中から、自動車メーカー等が評価した3件の技術案件について、技術課題解決に向けたフォーメーションが形成されつつあり、マッチングに向けたフォローアップを行っている。

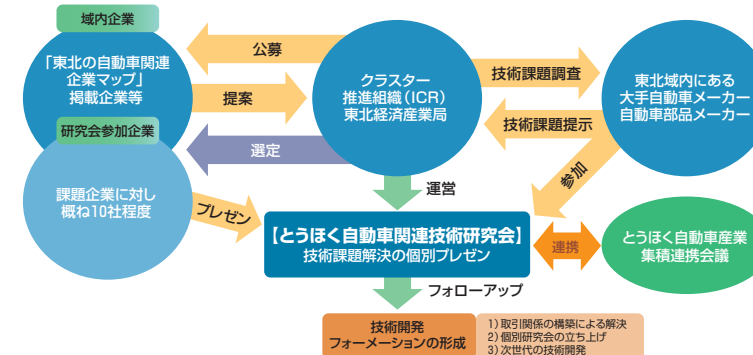
■研究会の内容

自動車メーカー等2社から示された具体的な技術課題について、クラスター事業で作成した「東北の自動車関連企業マップ」掲載企業と、「とうほく自動車産業集積連携会議」会員の約1,300社に提示し、17社から技術課題解決に係る提案があった。

自動車メーカー等1社については、平成20年3月13日(北上市)に研究会を開催し、応募企業の中から絞り込まれた9社が個別にプレゼンを行った。

他の自動車メーカー等1社については、別途提案資料を技術シーズとして紹介した。

研究会フロー図



自動車メーカー等プレゼンの様子